

質疑応答



●司会進行／新祖美智恵

稲永先生、お疲れのところ恐縮でございますが、これから質疑応答に入らせて頂きたいと思っております。皆様、せっかくの機会でございますので、先生に何かご質問、或はご意見等ございましたら、ぜひお願いしたいと思っております。



●質 疑／安藤 仁

ありがとうございました。非常に広範囲のお話が聞けて大変うれしく思います。テレビ等で拝見していた通りのイメージの先生で参考になりました。結論として、みんなが「心に潤いを」という事ではないかと思っております。具体的に我々が乾燥化を防ぐ手っ取り早く出来る事は何でしょうか。



●応答／稲永忍先生

それはですね。先程、高校生の皆さんが発表されておりました、一人一人が身の回りの事から始める。例えば、食料を大事にする。日本の食料は、60%が海外に依存している。その食料を作る為には、膨大な水が使われている。ですから、まず自分が環境を大事にする。その為には、物を大切にすること。その食べている物が作られている古郷に思いをはせて、その環境を考えるという事が大切だと思います。



●感想／倉本聡

先生のお話を聞いていますと、まだまだ勉強不足だと痛感しました。これからも、自分達が出来る事から、どんどんやって行きたいと思います。ありがとうございました。

●応答／稲永忍先生

質問は受けてないんですが、勇気を持って発表してもらいましたので、お答えします。一見、私が話した事が知識が多く見えますが、これは私が長く生きているだけで、私が学校の教師をしていた為に、人に教える為には知識を増やさないといけないという事です。だんだん自分が気が付く事は、簡潔に話さないといけないという事で、解っていない事が多くあります。若い皆さんには時間があります。どうか、これからもますます色々な事に挑戦して、ぜひ頑張ってください。



●質疑／町里 文孝

本日、ストップ・ザ・黄砂と言う事で勉強させていただき、又、高校生の頑張っている姿を見て、山が緑になれば良いという思いで聞かせていただきました。出来る事から、自ら進んでやれば良いのですが、日本がどのような事をしているか、又、位置づけやスケールが解れば教えて頂きたいのですが。

●応答／稲永 忍 先生

ありがとうございました。私、そういう目を見た事ないんですが、日本人が植林しているのは中国の砂漠化防止のごく一部だと思います。と言いますのは、中国のあぶら松の苗木が、1億本も植えられていると言うのは、そのニーズがあるという事で、中国も自ら植林していると思います。植林について考えてみると、僅かだと思いますが、又、世界で見ればごくごく少ないと思います。しかし砂漠化に対する財政支援は、1、2番だと思います。

是非、高校生の皆さんも国際機関にも出て行って欲しいと思います。そして、国際的な活躍を期待しております。

●司会進行／新祖美 智恵

熱心にご聴講下さいまして大変ありがとうございました。お陰様で無事に閉会を迎える事ができました。それでは、講演会副実行委員長であります中重俊二より、閉会のことばを申し上げます。



●閉会のことば／講演会副実行委員長 中重俊二

皆様、大変お疲れ様でした。本日は大変お忙しいところ、又、寒い中、沢山の方にお集り頂き、ありがとうございました。私達も一生懸命準備をして参りましたが、何かと不行届きの点があったかと思いますが、大きな奉仕の心でお許し頂きたいと思います。これを持ちまして、閉会させていただきます。